

卒業生の皆様
学生の保護者の皆様

皆様こんにちは。名古屋工業大学卒業生連携室です。

つい先日まで半袖で過ごせる日が続いていましたが、肌寒い日が増え、一気に季節の進みを感じるようになりました。皆様も、季節の変わり目による体調変化にお気を付けください。さて、イベント情報でもお伝えしますが、11月15日（土）及び16日（日）に、第63回工大祭が開催されます。この機会に、ぜひ同窓生、ご家族等と一緒に、母校名工大へお越しいただき、各種イベントをお楽しみください。

それでは、ニュース、イベント情報等お知らせいたします。

名古屋工業大学 卒業生連携室 メールマガジン No. 85
2025年11月号

【目次】

- 1 ニュース
- 2 イベント
- 3 研究関連情報
- 4 教員の受賞
- 5 学生の活躍
- 6 公開講座
- 7 名古屋工業会・学科同窓会
- 8 奨学金等
- 9 リンク
- 10 卒業生連携室から

1 ニュース

- 留学生懇談会「NITech Global Campus Connect」を開催

10月22日（水）に、大学会館1階 Sky Cafeteriaにて、留学生懇談会「NITech Global Campus Connect」を開催しました。

教職員・学生あわせて100名以上が参加し、会場では、日本人学生による海外留学体験の報告や、外国人留学生による出身国・大学の紹介が行われ、異文化理解を深める場として大いに盛り上がりました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/event/2025/13331.html>

○ 女子学生のためのテクノフェスタを開催

10月4日（土）に、女子学生のためのテクノフェスタを開催しました。

保護者や本学女性卒業生有志による同窓会「鶴桜会」からの参加者を含め、200名近くの参加があり、参加者からは、「女性の活躍している姿を知ることができ、私も将来こうなりたいとより具体的に考えることができた。」など嬉しい声をいただきました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2025/13269.html>

○ 次期科学技術・イノベーション基本計画セミナーを開催

10月1日（水）に、NITech Hallにて「次期科学技術・イノベーション基本計画セミナー」を開催しました。内閣府科学技術・イノベーション推進事務局との共催による本セミナーでは、産学官金連携による社会課題の解決やイノベーション創出の方向性について議論が行われました。

企業関係者や学内の教職員・学生など、約250名が参加し、参加者からは博士人材の活用や国際頭脳循環についての意見も寄せられ、活発な議論が展開されました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2025/13264.html>

2 イベント

○ 第63回工大祭を開催

11月15日（土）及び16日（日）に、第63回工大祭が開催されます。

今回の工大祭のテーマは「be united」です。工大祭にぜひお越しいただき、同窓生、名工大生、名工大とのつながりを感じる機会としてください。

<https://www.koudaisai.com/>

○ ARTFUL CAMPUS 2026 未来共創 ～音楽×工学×美術—この力が交わるとき、未来の表現が生まれる～ を開催

2026年1月9日（金）に、愛知県立芸術大学との連携による「ARTFUL CAMPUS2026 未来共創」を開催します。

工学と芸術の融合が生み出す作品展示やアートツアー、両大学の学生・教員による自動演奏ピアノによるワークショップ、愛知県立芸術大学ウインドオーケストラの圧巻の演奏もお楽しみいただけます。ぜひご参加ください。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13243.html>

3 研究関連情報

○ 2種類の触媒でアミドとエステル的位置選択的な重水素化を達成！ ～創薬研究やマテリアル分野への応用に期待～

本研究により、ルイス酸と塩基という性質の異なる2種類の触媒を組み合わせること

で、カルボニル化合物を事前に活性化することなく、アミドおよびエステルの特定位に重水素を導入する手法の開発に成功しました。本反応は天然物や医薬品に加えて、これまで重水素導入が困難とされてきたペプチドやポリマーへの適用にも成功しています。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13089.html>

- PFAS に該当しないフッ素官能基の提案と合成 ― 環境にやさしい農薬・界面活性剤への道を拓く ―

本研究により、環境への影響が懸念される PFAS（ペルフルオロアルキルおよびポリフルオロアルキル物質）に代わる新しいフッ素官能基「ジフルオロアセチルスルホキシミン」の合成に成功しました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13313.html>

- "水和イオン液体"で膜タンパク質の構造と機能を長期安定化 ―創薬・バイオデバイス開発に新たな道を切り拓く革新技術を発表

本研究により、膜タンパク質を「水和イオン液体 (Hydrated Ionic Liquids)」に直接溶解させ、これまで困難とされてきた構造保持と機能維持を両立させる新技術の開発に成功しました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13296.html>

- 地上-衛星間光通信における大気ゆらぎの影響を克服する次世代誤り訂正符号の伝送に世界で初めて成功

本研究により、高い誤り訂正能力を持つ次世代誤り訂正符号（5G NR LDP と DVB-S2）を伝送した結果、地上-衛星間光通信回線で生じた誤りデータの訂正に成功し、従来よりも通信品質の向上に寄与できることを確認しました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13297.html>

- 層状有機-無機ハイブリッド材料により摩擦を低減 ～フッ素樹脂に代わる新たな固体潤滑剤として期待～

本研究により、銀イオンとチオラート配位子から合成できる層状有機-無機ハイブリッド材料の銀チオラートが、既存の固体潤滑剤と同等以上の優れた固体潤滑性を示すことを見出しました。また、種々の構造を有する銀チオラートを系統的に評価することで、潤滑特性の発現メカニズムを明らかにしました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13282.html>

- 代替フロン完全ケミカルリサイクル技術 ― 蛍石に依存しない次世代フッ素化合物製造法 ―

本研究により、HFC-125 を「冷媒」から「フッ素化試薬」へと分解変換する完全ケミ

カルリサイクルが実現し、蛍石に依存しないフッ素化合物の持続可能な製造に道を開きました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13247.html>

○ フッ素化合物を持続可能な資源へ ― C-F 結合を切断し、スチレンを二官能基化する新技術 ―

本研究により開発された技術は、これまで「安定すぎて扱いにくい」とされてきた有機フッ素化合物を、逆に持続可能な資源として有効活用する基盤技術となることが期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13237.html>

○ 可視光で切り開く新しいホウ素化学 ～アミンボラン錯体の合成とクロスカップリング反応への応用による持続可能な有機合成技術の開拓～

本研究で提唱した新規合成戦略により、医薬品や農薬、機能性材料の構成要素として重要なポリフルオロアレーンの化学修飾が可能となり、複雑な分子を効率的に供給することで、創薬や高分子材料など多岐に渡る分野の研究開発がさらに加速されることが期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13238.html>

○ 塩化物電極のレドックス準位設計により 鉄系全固体電池で世界最高水準の性能を達成～塩素を活用した新しい電極設計指針を提示～

本研究成果は、持続可能な次世代電池開発への大きな前進になります。また、本研究で確立した「レドックス準位設計指針」は、今後の全固体電池開発における重要な道しるべとなり、社会の脱炭素化や再生可能エネルギーの安定利用に直接貢献することが期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13228.html>

○ 液体と固体の応力分布を可視化する光学計測技術の開発―模擬血液と模擬血管の応力伝達を世界で初めて非侵襲的に計測―

本研究で開発した計測手法により、血管や血液に作用する応力やその相互作用を実験的に可視化することで、血管の破裂部位の特定や破裂リスクの予測が可能になると考えられます。さらに、得られた実験データを数値シミュレーションと比較することで、血液の数理モデルの開発やシミュレーション精度の向上にも貢献できると期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13221.html>

4 教員の受賞

本学の教員が優れた功績を認められ、受賞等されましたのでお知らせいたします。

○ 第48回日本金属学会技術開発賞

萩原 幸司 教授、徳永 透子 助教が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/13244.html>

5 学生の活躍

学生たちが素晴らしい活躍をしております。これからも学生皆さんの素晴らしい活動を楽しみにしています！

<https://www.nitech.ac.jp/campus/news/index.html>

6 公開講座

2025年度の公開講座の情報をお届けします。対象は小学生から技術者までと幅広く、種々の講座を開講しております。皆様の多数の受講お申込みをお待ちしております。現在は3つの講座が受付中です。

<https://www.nitech.ac.jp/social/course/list.html>

7 名古屋工業会・学科同窓会

○ 名古屋工業会

名古屋工業大学における教育研究の支援を行うと共に、会員相互の連絡啓発を行い、学術・文化の発展に寄与することを目的として、活動を行っています。

<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>

○ 名古屋工業会誌「ごきそ」秋号の発刊

同窓会誌「ごきそ」の最新号である秋号が発刊されました。夏に実施した「若手会員と学生会員との座談会」について特集しています。ぜひご覧ください。

https://www.nagoya-kogyokai.jp/gokiso_list

○ 単科会

各学科の同窓会組織です。

<https://alum.nitech.ac.jp/links/tanka.html>

8 奨学金等

○ 本学では授業料免除の他、多様な奨学金制度を設けており、学生の経済的支援を行っております。受付期間などを確認していただき、申請遅れのないようご注意ください。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>

9 リンク

○ 名古屋工業大学ホームページ

メールマガジンにて掲載している内容だけでなく、大学の動向が一目でわかるようなコンテンツとなっておりますので、是非訪れてみてください。

<https://www.nitech.ac.jp/>

○ 基金のページ

産業界、地域社会、そして卒業生の皆さまから支持される魅力的な大学づくりを目指し、世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆さまからの御寄附・御支援をお願いしております。

<https://www.nitech.ac.jp/kikin/>

○ 卒業証明書等申請

<https://www.nitech.ac.jp/campus/procedures/certificate.html>

○ キラリ卒業生 社会で活躍する名工大卒業生

幅広い業界に就職し、活躍している卒業生が掲載されています。

<https://www.nitech.ac.jp/prospective/activity/index.html>

○ 名古屋工業大学産学官金連携機構

企業様のアウトカムを創出していくよう、研究計画からアウトプットまで丁寧に支援をさせていただきます。

<https://sanren.web.nitech.ac.jp/>

10 卒業生連携室から(連絡先メールアドレス：renkei@adm.nitech.ac.jp)

○ 学科同窓会会員名簿の管理について

学科同窓会の協力を得て、卒業生名簿の大学管理への移行を進めています。住所変更等の情報をお知らせください。なお、CE会の会員様は、CE会名簿修正フォームにて、御自身で変更することも可能です。

https://ssl.cekai-nitech.jp/form/ce_edit_member_form

○ 登録情報について登録内容に変更がございましたら、御連絡ください。

○ 大学訪問時の御案内等について

卒業生の皆様が同窓会でキャンパスを訪問された際に、キャンパス案内 をお引き受けしております。お気軽にお申し出ください。

○ 卒業生連携室ホームページ

<https://alum.nitech.ac.jp/index.html>

- ・ メールマガジンバックナンバーはこちら
<https://alum.nitech.ac.jp/backnumber/>
- ・ 配信停止は、登録されているメールアドレスから、件名を「メールマガジン配信停止希望」と記載し、本文に以下の事項を記入の上、名古屋工業大学卒業生連携室までメールをお送りください。

本文記入事項

§ 在学生の保護者の方

(1) 学生（在学されている方）の氏名

§ 卒業生の方

(1) 氏名

(2) 卒業・修了された年月

(3) 在学時の学生番号（不明な場合は「不明」と記入。）

送信先：renkei@adm.nitech.ac.jp
